

議会の評価

【平成25年度(1年間)の活動結果】

議会は、町民に議会・議員の活動内容を周知し、情報を共有することにより、議会活動の活性化を図るため、しっかりと現状を把握し議会の評価を行っています。

議会活動を主要10項目と具体的な36項目に区分し、議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月18日決定）が評価して町民に公表するものです。

昨年度との比較で良化した項目は、1項目でした。（系統議長会の体制整備、表の青文字）逆に、悪化した項目はありませんでした。

本年度も引き続き、「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな福島町のために不断の努力を続けてまいります。

【評価の分類：○＝「概ね一定の水準にある」 △＝「一部水準に達成していない」 ▲＝「取組みが必要」】

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H25評価	摘要
		H22	H23	H24		
1. 議会の活性化	①一般質問	△	△	△	△	昨年度に比べ延べ人数は2人、項目数では2件減少した。質問項目を参考に両常任委員会にて1項目を調査した。実人数は7人。 〔1会議の平均質問件数：5.3件、渡島管内=5.3件、全道=4.7件、全国=6.2件〕
	②質疑	○	○	○	○	昨年度に比べ本会議及び予算・決算特別委員会とも質問率が増加した。 〔本会議の質問率：定例80.0%、定例以外46.4%〕 〔平均質問者・件数：定例8.0人、96.8回 定例以外4.3人、21.2回〕
	③討論	△	△	△	△	本年度は93件の議案のうち、討論が行われたのは2件でした。 〔H24＝本会議2件 延べ2人、H25＝本会議2件 延べ4人〕
	④討議	△	△	△	△	運営基準を改正し、本会議で討議を行うための内容を追加したが、実際に討議が行われた議案はない。常任委員会では論点を整理し討議を行っている。
	⑤議員提案	△	△	○	○	常任委員会で一般質問項目を参考にした調査への取り組みと調査結果を行政側に直接伝えることで議会の考えが政策等に反映されるようになった。条例提案への取り組みが課題。
	⑥文書質問	▲	△	△	△	質問者は1人減で項目は3件増加した。政策提案等に向けた文書質問の活用が課題。 〔H24＝実人数3人、6項目、H25＝実人数2人、9項目〕
2. 議会の公開度	①委員会の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開。委員会のライブ中継を検討。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開。
	③審議前の会議資料の公開	○	○	○	○	ホームページの容量的制限を受けるもの（予算書など）以外は、基本的に全て公開。
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費及び政務活動費などの詳細も全て公開。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議及びホームページで公開。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	原則ライブ中継により公開。資料提供も実施。
	⑦会議公開の充実（ライブ中継）	○	○	○	○	光回線の開通によりライブ中継の画質が向上し、同時アクセスによる映像停止等の障害が改善された。全道＝53議会
3. 議会の報告度	①議会だより・速報版等の発行	○	○	○	○	ページ数を増やし、内容（質疑内容、論点整理など）の充実を図った。速報版も適宜発行。全道＝単独発行119議会
	②議会ホームページの運用	○	○	○	○	議会単独HPを取得し、情報容量を拡大。充実したホームページの運用に向けCMSを検討中。全道単独HP＝6議会
4. 住民参加度	①各種団体との懇談会の開催（常任委員会の活動）	△	○	△	△	教育委員会委員との懇談会を実施。 〔懇談会：H24＝1回、H25＝1回、出前議会：H24＝1回〕
	②町民と議員との懇談会の開催	△	○	○	○	本年度は開催地区を町内会単位とし3班体制で実施した。 〔H24＝13日間・22会場・185人 H25＝6日間・18会場・121人〕全道＝55議会
	③参画者への対応と参加度	△	△	○	○	参画者は昨年度とほぼ同じ。同様の資料を用意。討議への参画が課題。 〔H24＝定例83人、平均20.8人 定例以外9人 平均1.1人〕 〔H24＝定例82人、平均20.5人 定例以外9人 平均1.1人〕 〔全道平均＝定例10.1人 定例以外0.7人〕
	④休日・夜間議会の開催	△	○	○	○	H19から夜間議会を開催。休日議会は未実施。 〔H24＝1回18人、H25＝43人〕 全道＝夜間7議会、休日8議会

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			H25評価	摘要
		H22	H23	H24		
5. 議会の民主度	①一般質問の一問一答方式	○	○	○	○	一問一答方式の実施（H12）。質問回数と時間制限の規定廃止（H20）。全道＝94議会
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施（H6）。全道＝122議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に対する的確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるように改善していくことが必要。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持	○	○	○	○	福島町議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）。町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となる執行者からの要請による開催は基本的にしない。
	③議会権能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	町長の政治姿勢について、①誠実に欠ける議会対応、②議会での審議経過を重んじない姿勢、③公約の実現に向けて全力で取り組まない政治姿勢、④リーダーシップ欠如・特別職等との連携不足の4点について主な事実を示し、このままでは行政の停滞がさらに続き、当町の未来に大きな禍根を残し、致命的な損失をあたえることとなるとして、自責の念を示そうとしない町長の姿勢をそのまま放置することは許されないことから、「辞職勧告決議」（H26.3月会議）を可決した。
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	△	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。調査意見を行政側に説明し手交することで委員会の意向が政策に反映されるようになった。〔H25調査意見書 28件〕
	②政策立案・審議能力の向上強化	△	○	○	○	上記①の中でH21.10月に議会が町長に提出した「総合計画に係る提言書」の主要な項目を検証し、政策立案に結び付くよう活動している。H25.12月に「第5次福島町総合計画策定に係る提言書」として83の課題項目を設定し、それぞれの解決に向けた方策等の考え方を示し町長に提出した。事務事業評価（H24決算）の実施。予算説明資料の充実（事業内容等を追加）により審議が活性化。懸案であった「総合計画の策定と運用に関する条例」・「公共施設維持保全計画」・「企業振興条例」の策定については、議会側の意向が大きく反映された。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実にも繋がった。上記①において議決した計画書の取り組み状況を調査した。
8. 事務局の充実度	①議場・委員会室の整備充実	○	○	○	○	委員会室にカメラを設置（H21）。H26から、常任委員会を議場で開催する予定。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、充実した情報・資料収集、法務能力の向上など、資質向上に期待。会議録反訳システムのモニター導入による検証作業中。体制は正職員3人、臨時1人で充実。
9. 適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、民生委員推薦委員会、都市計画審議会、青少年問題協議会のみ就任。
	②適正な議会経費	△	△	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定した。（標準額＝3,184千円・H25決算額＝2,613千円）
	③議会の自主性強化	△	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。
	④議会附属機関の設置	○	○	○	○	本年度は「適正な議員定数（現行11人）の検討」、「適正な議員歳費の検討」、「議会評価（平成24年度）の検討」の調査審議と「議会基本条例の見直し検討による行動計画」の確認を求め、それぞれ答申を受けた。
	⑤系統議長会の体制整備	△	△	△	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望した。（資料提供、道内の町村議会のリンク等）
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取り組み	○	○	○	○	本年度から本会議及び常任委員会の事前勉強会を実施し、議案等の要点や問題点を確認した。〔H24＝勉強会（常任委員会1回、本会議3回）、研修会1回〕〔H25＝勉強会（本会議4回）、研修会1回〕

議会評価に対する 諮問会議の意見

去る5月14日(木)に開催された「議会基本条例諮問会議」において、平成25年度分の議会評価の内容等を検討していただきましたので、その概要をお知らせします。



19 福島町議会だより

－ 第101号 平成26年6月1日発行 －

1. 議会の活性化（18ページの内容）

③討論と④討議をそれぞれ本会議と常任委員会とし、整理した方がきちんと評価でき分かりやすいのではないかと。また、一般質問に繋げるためにも文書質問を活用すべき。

2. 住民参加度（18ページの内容）

懇談会で出された意見の処理・反映の項目を設けてはどうか。

3. 適正な議会機能（19ページの内容）

②適正な議会経費において、きちんとテーマを決めた調査費的なものも必要ではないかと。